

【研究テーマ】豊かな心を育む道德教育の指導の在り方
 ～言葉で伝え合う活動を通して、一人一人がよりよい自己を思い描き
 実践していこうとする意識の向上を目指す～

<テーマに迫るための本時の手立て>
 わがままを注意する登場人物のペープサートや、注意されるかぼちゃのペープサートを使って発表することにより、かぼちゃの心情に共感できるようにする。

第1学年1組 道德学習指導案

指導者 ○○○○

- 1 主題名 わがままなきもち [1 (1)節度・節制・自立]
 2 資料名 かぼちゃのつる(学研「みんなのどうとく」1年)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目1 (1)は、「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」ことをねらいとしている。基本的な生活習慣の中でも、わがままをしないで生活することは、かなりの自制心が必要である。楽しく望ましい集団生活をしていくためには、わがままな言動を抑制し、互いにけじめのある生活をする必要がある。自分さえよければと思う自己中心的な考えを慎み、深く考えて行動し、人の意見に耳を傾け規則正しい生活をしようとする態度を養うことが大切であると考え。そこで、本校の研究テーマにつながる自己実現感が高まった児童の姿を「人の話を素直に聞き、わがままをしないで行動しようとする児童」とした。

(2) 児童の実態と指導の方向

本学級の児童は、明るく全体的にのびのびと素直である。入学当初に比べると友達も増え、休み時間には元気に外遊びを楽しんでいる子が多いが、遊びや生活の中で自分の意見が認められなかったり、思い通りにならなかったりした時に、強い口調で相手を責めたり、自分勝手な行動に走ったりしても平気な顔をしていることがある。そのような行為が、他の人たちの迷惑になっているとなかなか気が付かないようである。そこで、児童の実態を把握するため、次のようなアンケートを行った。

【事前アンケートから(32名 6/11調べ)】

わがままをしないで我慢することは、大切だと思いますか。	思う 29名 思わない 3名
わがままを我慢したことはありますか。	はい 29名 いいえ 3名
その時、どんな気持ちでしたか。	・少しいやだった。 ・つらかった。 ・残念だった。 ・我慢しなきゃいけないんだ。 ・少しならいいんじゃないかな。 ・相手が喜んでくれて、嬉しかった。

アンケートの結果から、ほとんどの児童は、わがままをしてはいけないことを理解している。しかし、実生活では、我慢したことがいやな印象として残っていたり、体験が少なく、わがままな言動に走りがちであったりした。友達とトラブルになってしまう児童も多い。また、自分勝手な言動をわがままな行為と自覚していなかったり、他の迷惑になっていることに気付いていなかったりすることもよくある。

資料「かぼちゃのつる」は、主人公のかぼちゃが自分のしたい放題につるを伸ばしていく。みんなの忠告を聞かずに道まで伸ばした時に、トラックが来て、あつと言う間につるを切られて泣いてしまうという内容である。

自己中心的な行動をとって他者に迷惑をかけ、さらに、自分も困ってしまうという現在の児童の生活の中でもありがちなことなので、十分に共感できると思われる。

注意されても、わがままを通していったかぼちゃの気持ちに焦点を当てて考えることにより、謙虚に他者の意見や忠告に耳を傾け、素直に反省することの大切さを考えさせる機会としたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

周りの人の忠告を聞いて、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。

(2) 資料・準備物

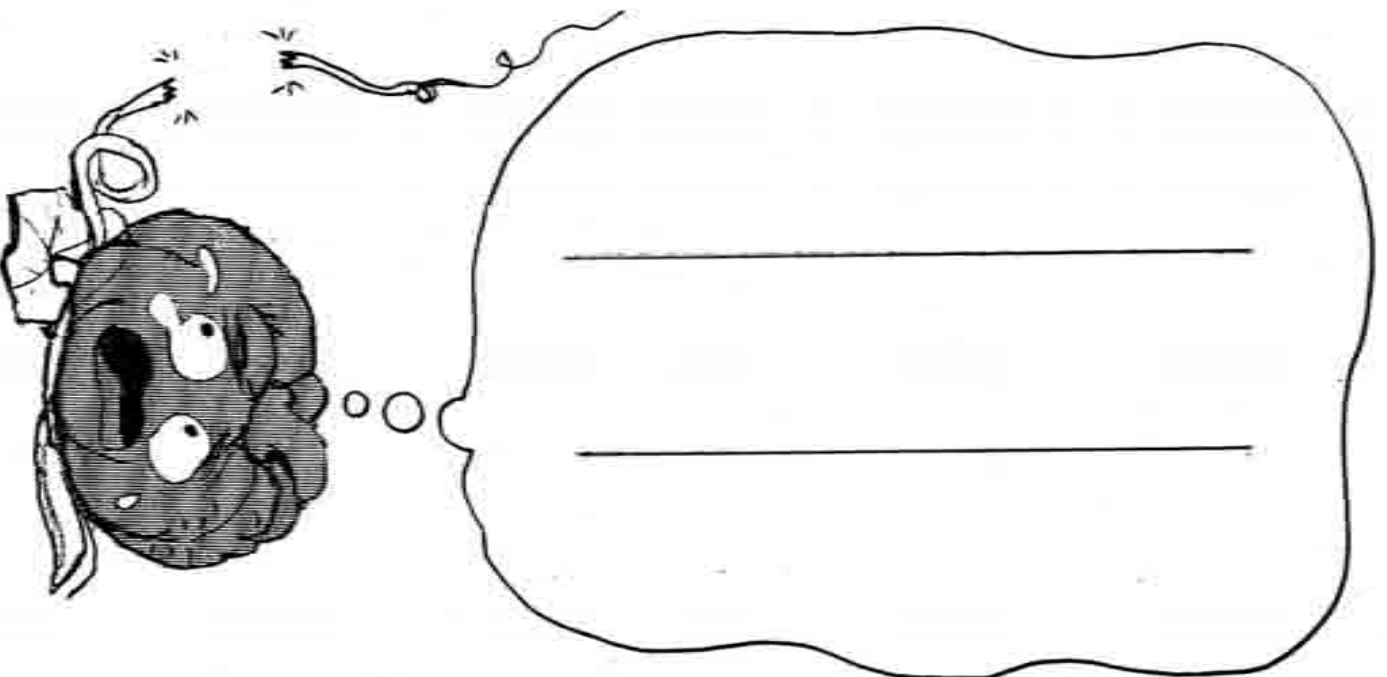
場面絵，ワークシート，ペープサート，かぼちゃの実物

(3) 展開 (⇒ テーマに迫るための主な活動場面) ◎は，中心発問)

配時	主な活動と発問	予想される児童の反応	教師の支援・評価
5	1 かぼちゃの育ち方について確認する。 ○ かぼちゃのつるは，どんなふう伸びていくでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ すごく伸びてる。 ・ あさがおのつるに似ている。 ・ 地面をはって伸びている。 	○ かぼちゃの育つ様子（挿絵）を見ながら，かぼちゃがつるを伸ばして成長することに気付くことができるようにする。
30	2 資料「かぼちゃのつる」を読んで話し合う。 ○ つるをぐんぐん伸ばしているかぼちゃは，心の中でどんなことを考えていたでしょう。 ○ みつばち，ちょう，すいか，子犬に注意されたかぼちゃは，どんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちがいいな。 ・ もっと伸ばしてやるぞ。 ・ どんどん大きくなるぞ。 ・ ぼくってすごいだろう。 ・ うるさいな。いいじゃないか。 ・ ぼくは，そっちに伸びたいんだ。 ・ 少しくらいならいいだろう。 ・ けちけちするなよ。 ・ つるをまたげばいいだろう。 ・ 痛いよう。ひくなんてひどいよう。 ・ こんなにつるを伸ばさなければよかった。 ・ みんなの言うことを聞けばよかった。 ・ これからは，自分勝手なことをしないようにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ かぼちゃの絵を掲示し，かぼちゃが楽しく自分のつるを伸ばしている気持ちに共感させる。 ○ みんなの忠告を無視し，伸ばし放題につるを伸ばして，周りに迷惑をかけていることに気付かないかぼちゃの気持ちを考える。
⇒	◎ トラックにつるを切られた時，かぼちゃはどんなことを考えたでしょう。		○ 児童に各自の考えを持たせるために，ワークシートに書かせてから発表させるようにする。 ○ ペープサートを使うことにより，つるを切られ反省しているかぼちゃの気持ちを深く考え，自分の声で素直に表現できるようにしたい。
7	3 自分の生活を振り返り，わがままをしないで行動できた時の経験について話し合う。 ○ 周りの人のことを考えて，わがままを我慢できたことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗いの順番を守った。 ・ ゲームを1回だけやった。 ・ 鉄棒の順番を守った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ つるを伸ばしすぎて大失敗してしまったことから，人の意見を聞くことの大切さや，わがままはいけないことに気付いたか。（ワークシート・発表） ○ ワークシートに意見が書けない児童には，挿絵から気持ちを考えるように助言する。
3	4 教師の説話を聞く。		○ 児童にとって身近な話題を選んで話し，周りの人の忠告を素直に聞くことの大切さを感じさせ，本時のまとめとする。

かぼちゃの
ころ

とんくにひかれてころをきんれたと
き、かぼちゃはどんなことをかんがえた
だろう。



いねん

くみ